

将来予測、ビジネスモデル、開発・事業収支計画から法務・契約の実務まで。  
 多様化するデータセンター開発のための情報を網羅し、事業の可能性を提示！

# データセンターの事業モデルと 法務・契約実務資料集

著者

第1、2編 杉浦日出夫 (株)RSI 代表取締役

第3編 糸川貴視 長島・大野・常松法律事務所 パートナー弁護士

1 予約特価  
 引きき!

2024年5月中旬発刊予定

予約特価89,100円(本体81,000円)

●A4判／縦型 ●約100頁 ●定価99,000円(本体90,000円)

※予約特価は2024年5月16日までにお振込みいただいた方に限ります。

本書の特徴

特徴

1

開発・投資に必須な用地選定等の要件と、ハイパースケーラーの収支モデルプランを解説。**収支構造が理解できる**

特徴

2

マーケット、消費電力、技術面の現状と将来予測から、エッジデータセンター等**多様化するビジネスの成長性を探る**

特徴

3

データセンターの投資スキーム構築における法規制と作業ポイント、契約類型・内容の特徴と留意点を解説。**法務の枠組みがわかる**

## 編集内容

### 第1編 市場動向と将来予測

- I. データセンターの市場と開発動向
  1. 市場動向
  2. 現在のトップ事業者と利用者
  3. 投資の分業化とコアシェル事業者
  4. データセンターの種類
  5. 展開地域(分布)
  6. 開発における課題
  7. データセンター間の接続
- II. 消費電力
  1. 消費電力の将来予測
  2. 省エネ指標：PUE 3. 省エネ対策
  4. 海外への接続
- III. 今後の展開
  1. データセンターのマーケット予測
  2. エッジデータセンターの市場
  3. エンタープライズデータセンターの動向
  4. データセンター利用者(エンドユーザー)
- IV. 海外市場の最新動向
- V. 技術面からみた将来予測
  1. 集中から分散へ 2. WEB 3.0
  3. カーボンニュートラル

### 第2編 開発・運営計画

- I. 用地選定
  1. 事業の仕組み
  2. 開発パターンの検討
  3. 建替え時期
  4. 開発に必要な条件
  5. 転用に適した建物
  6. 建設期間
  7. データセンターの再利用
  8. 多様化に伴う注意点
- II. ハイパースケーラー向けデータセンターの開発・運営計画
  1. 規模の検討 2. 面積の考え方
  3. 施設概要
  4. 必要な電力と受電容量
  5. 事業収支計画
    - 土地利用の仕方～ラック数の検討/収支構造/売上計画/必要経費/賃料/建設コスト(投資計画)/年間収支計画/コアシェル事業者の投資額/設備の段階実装/エンドユーザーが支払う金額
  6. プロジェクトの推進体制

7. プロジェクト進行における課題
- III. エッジデータセンターの可能性
  1. エッジデータセンターの必要性
  2. 種類と定義 3. 市場の動き
  4. ビジネスモデル
  5. ビル型エッジデータセンターの要件  
オフィスからの転用
  6. エンタープライズデータセンター(オンプレミス)との比較

### 第3編 関連法務と契約内容

- I. データセンター投資ストラクチャーの基本的な法的枠組み
  1. 証券化の概念の整理
  2. 許認可・規制の枠組み
  3. ビークル選択のポイント
- II. 投資ストラクチャーの組成・運用
  1. 各種ストラクチャーの組成スケジュール・作業ポイント
  2. 投資法人 3. GK-TK 4. TMK
  5. 運用フェーズにおいて留意すべきポイント
- III. 契約内容の検討ポイント
  1. 契約の種類
  2. 契約類型別の具体的なポイント
  3. ファイナンスストラクチャーに応じたポイント

※編集内容は一部変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。